テーマ１：観光振興／リージョナルレポート

テーマ名	観光振興	地方政府名	扶余郡
取組名称	扶余ペクシダル（Baekseedal）EQ バス（扶余・百済の時を駆ける） EQ=education Quiz		
概　　要	文化体育観光部の 2018 年「地方自治体シティツアー支援事業」として選定されたプログラム。映像クイズを解きながら観光する特色のある全国唯一の観光プログラムで、扶余を訪れる観光客の間で人気を博している。		
予 算 額	6000 万ウォン	（U$50,782）	

1. 課題（現在の状況）

バスツアーを通して、**世界文化遺産**としての百済文化の歴史的価値を広く知ってもらうと同時に、有名な文化史跡以外にも、あまりまだ知られていない地域の多様なコンテンツを紹介することにより、扶余郡を「訪れたい観光地・新しい旅行地」としてアピールする

2. 目標（将来像）

◇テーマ性のあるツアー

扶余の有する「歴史」という強力なテーマ性を活かしたコンテンツを通じて、普通のシティツアーとは異なる扶余郡ならではの特別なブランドツアーを開発し、書籍を通じてしか知らなかった百済の過去から現在までの歴史の現場を、直接見て感じる旅行・公演プログラム

◇過去＋現在＝未来

最盛期の百済文化の姿を残しながら、一方で百済滅亡の悲しい歴史の様子もそのまま伝える扶余。
「過去を知ってこそ未来に備えることができる」という言葉のように、われわれの暮らす現在の時点から、華やかだった過去を直接確認して、より良い未来に備える契機とする

◇世界文化遺産としての扶余

扶余には、王陵遺跡や扶蘇山、宮南池など、かつての先進の百済文化遺跡が密集している一方で、百済文化団地、国立博物館、落花岩など、現代の観光資源として活用されている所も多い。こうした過去と現代の文化財を同時に楽しむことができる体験型ツアーバスを運営

3. 取組内容（概要）

〇事業期間:2019年4月～10月
〇総事業費:6000万ウォン（国庫補助金3000万ウォン/地方費3000万ウォン）
〇事業内容:子供コンテンツ型シティツアーバスの運営
〇補助事業者名:扶余郡
〇運行コース

区分	場所	特徴
①扶蘇山城（落花岩、皐蘭寺）	扶余邑	－ 百済の首都・泗沘を守るために築かれた山城で、落花岩、皐蘭寺などがあり、さらに扶蘇山城の横に白馬江が流れており、黄布帆船を楽しむことができる
②定林寺跡（五層石塔、博物館）	扶余邑	－ 百済が扶余に首都を移した時期に建てられた王宮と関連の深い寺院といわれている。国宝第9号・定林寺跡五層石塔がある
③陵山里古墳群	扶余邑	－ 百済王たちの墓群で合計7基の古墳が確認されている。1993年、陵山里寺の跡地からは国宝第287号・金銅大香炉が出土した
④百済文化団地	窺岩面	－ 百済王宮や寺院をはじめとする百済の歴史と文化を、ひと目で見ることのできる歴史テーマパーク

扶蘇山城 （落花岩、皐蘭寺）	定林寺跡 （五層石塔、博物館）	陵山里古墳群	百済文化団地

（うまくいっていること）

- この地域を代表する観光コンテンツにまで成長
- コンテンツ型シティツアーバスでこの地域を訪れた観光客により、さらなる地域経済活性化につながった
- エデュケーションバスの企画を通じて、単純なツアーバスから一石二鳥の教育型ツアーバスに成長
- 扶余の観光資源を、歴史と文化のコンテンツにまで発展させ、新しい扶余のイメージアップにつながった

4. 参考資料

テーマ名	観光振興	地方政府名	全羅南道
取組名称	市郡圏域別の共同マーケティング活動支援		
概　要	○事業名：市郡圏域別の共同マーケティング活動支援事業 ○予算額：100 百万ウォン（道費）/自治体経常補助金　＊市郡費 50%マッチング事業 ○支援範囲：1 市郡当たり 10 百万ウォン以内 ○支援対象：圏域別に協議体を構成後、市郡費 50%マッチング可能な市郡 ○事業内容：国内外の観光客誘致のための共同商品開発及び共同マーケティング（観光博覧会参加、PR 説明会、FAM ツアー）		
予 算 額	（100 百万ウォン）	（　U$換算　）	

１．課題（現在の状況）

○全羅南道の行政区域は 22 の市郡（7 市、15 郡）で構成されており、各市郡で独自事業（市郡予算）として観光 PR 活動及び PR マーケティングを実施。

２．目標（将来像）

○地域好感度向上のため、競争力のある市郡を中心に圏域別の観光マーケティング拠点化

○道と市郡の有機的な協力システム構築を通じて、圏域別の共同観光商品開発及び PR マーケティングによるシナジー効果最大化

３．取組内容

（概要）

○事業名：市郡圏域別の共同マーケティング活動支援事業

○予算額：100 百万ウォン（道費）/自治体経常補助金

＊市郡費 50%マッチング事業

○支援範囲：1 市郡当たり 10 百万ウォン以内

○支援対象：圏域別に協議体を構成後、市郡費 50%マッチング可能な市郡

○事業内容：国内外の観光客誘致のための共同商品開発及び共同マーケティング（観光博覧会参加、PR 説明会、FAM ツアー）

（うまくいっていること）

〇新規観光開発事業として話題になったり、国際イベントが行われたりする場合、国内外の観光客誘致のために競争力のある市郡を中心に圏域別に観光協議体を構成し、圏域別の共同マーケティング活動を活発に推進

（うまくいっていないこと）

〇市郡の自律的な圏域別協議体の構成が困難（予算など、市郡の意見の相違）

テーマ１：観光振興／リージョナルレポート

テーマ名	観光振興	地方政府名	慶尚北道
取組名称	「慶北（慶尚北道）に来れば大韓民国が見える」		
概　要	○慶尚北道は800里（約314km）の白頭大幹（朝鮮半島全体に連なる山脈）、700里（約274km）の洛東江、1300里（約510km）の清澄な東海岸に至るまで「川・山・海」の天恵の資源を有し、大韓民国で最も優れた自然景観と生態観光資源に恵まれている。 ○韓国文化の源流である“ソンビ精神”（ソンビ：学識と品性を兼ね備えた高潔な人物）の儒教文化、新羅千年の仏教文化、神秘的な古代王国の伽耶文化が繁栄した3大文化の中心地でもある。 ○慶北では9/27～10/6に安東国際仮面舞フェスティバルが開催されるほか、豊基高麗人参祭り、青松リンゴ祭りなど約80のフェスティバルが1月から12月まで年間を通じて、23の市郡で多様に催されている。		
予 算 額	（　現地通貨　）	（　U$換算　）	

1. 課題（現在の状況）

○朝鮮半島の東南部に位置し、高速鉄道KTXでソウルから2時間、釜山と大邱から30分以内で到着できる。

○地方空港の成長の勢いと地方観光への関心が徐々に増す中、大韓民国のどこからでも簡単にアクセスできる地理的優位性を持つ。

2. 目標（将来像）

○美しく優れた文化観光資源をしっかりと保存し、隠れた観光コンテンツを積極的に発掘していくことで、世界に開かれた「観光・慶北」を実現

3. 取組内容

（概要）

【2019慶州世界文化エキスポ】開催

- 「文化で拓く未来の道」というテーマで10月11日から11月24日までの45日間、慶州世界文化エキスポ公園で開催される。1998年に世界初の文化博覧会として始まった慶州世界文化エキスポは、2006年にカンボジアのアンコールワット、2013年にトルコのイスタンブール、2017年にベトナムのホーチミンなど、計9回の開催を成功させてきた。
- これまでに約8万4千人の文化芸術家が参加し、累計来場者数が2千万人を超えるなど、今や名実共に韓国文化のグローバル化を導く世界的な文化ブランドとしての地位を確立した。

【2020大邱・慶北訪問の年】開催

- 世界的な観光都市への飛躍と文化観光の協力による、地方観光の新たなパラダイムを大邱・慶北がつくり上げるため、来年を「大邱・慶北訪問の年」に定めた。
- 相互に協力しながら共に成長していくことを実現し、地域経済の活性化と雇用創出を目標に、大邱・慶北が14の共同協力推進課題を発掘して推進している。

（うまくいっていること）

〇2018 年に韓国を訪問した外国人は約 1,535 万人で、そのうち日本は 3 位（295 万人、19.2%）だった。

〇1位は中国、台湾、香港などの中華圏の観光客で、慶尚北道の安東と慶州で伝統文化体験と観光を一緒に楽しめる「慶北テーマ旅行」が人気を集めている。

（うまくいっていないこと）

〇個人旅行を好む日本の観光客や母娘など家族連れで楽しめる観光スポット・旅先の発掘が急務である。

〇特に“インスタ映え”（インスタグラムに写真を投稿した際に見栄えが良いことを指す日本の新語）におすすめのコースを提供し、慶北のユニークな見どころや食べ物を提案していきたい。

4. 参考資料